

令和3年度
事業計画書

認知症対応型通所介護

大津みやび野デイサービスセンター

法人理念

「いたわりと思いやり」

「地域福祉の拠点として」

1. 事業の内容

事業の指定	(介護予防) 認知症対応型通所介護
事業の名称	大津みやび野デイサービスセンター
指定番号	2894000344
施設の所在地	〒671-1146 姫路市大津区大津町一丁目 31-111 TEL 079-236-7750 / FAX 079-236-3180
事業開始	平成24年11月1日
管理者	管理者 河崎文武
利用定員	12人/日
通常の実施地域	姫路市(勝原区・大津区・網干区・広畑区・余部区・青山・太市)
営業日	月曜日～土曜日(8:15～17:00)
サービス提供時間	8:45～16:15

2. 事業目標

次に掲げる年度目標の具体的対応策を周知・実行し、理念の実現を目指す。

目 標	感染症予防対策を徹底し、利用者の身体機能の維持や認知症症状の軽減を図る。
理 由	認知症の症状の進行から介護負担が増し、施設入所になったケースや新しい生活様式からレクリエーション活動にも制限を強いられ、外出の機会も減り、身体機能が低下し、利用がなくなったケースがあったことを踏まえ、十分な感染症予防対策を講じつつ、現存機能の維持を図りたいため。
具体的対応策	<ol style="list-style-type: none"> 換気や手指消毒に加え、手の触れる箇所の清掃など徹底した感染症予防対策を講じつつ、利用者個々の状態に合わせた脳トレプリントやパズルを提供し、一緒に行うことで認知症症状の軽減を図る。あわせて、活動意欲の向上を図るため、3密に留意しつつ、レクリエーション活動や野外活動を企画し、実施する。 3ヶ月に1度アンケートを実施することで家族の想いやニーズ、介護負担の状況を確認し、自宅生活の継続につながる支援を多職種協働で考え、実行する。 家族を含め、担当介護支援専門員など関係者に支援内容や活動時の様子などをタブレット端末にて、報告し、意見交換を行う。

3. 職員配置

介護保険法に定められている人員配置基準を遵守し、利用者の方々が、安全で快適生活が過ごせるように次の人員を配置する。

職 種	常 勤	非常勤		フルパート		パート		合 計	
		人数	換算	人数	換算	人数	換算	人数	換算
管理者（兼務）	1							1	1.0
生活相談員	1							1	1.0
機能訓練指導員						1	0.4	1	0.4
看護職員						1	0.2	1	0.2
介護員	1					5	2.7	6	3.7
合 計	3					7	3.3	10	6.3

※管理者は通常規模型通所介護の管理者を兼務する。

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、全ての職員が次のいずれかの委員会に属し、多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活 動 目 標	活動回数
リスク管理委員会	ヒヤリ・ハット報告書を徹底させ、日々の業務の中での気づく力を養い、大きな事故につながらないように施設内研修で周知を図る。	6・9・12・3月
接遇委員会	施設職員としての心掛けや利用者に対しての声掛けや関わりについての説明を行う。	4・1月
感染・衛生委員会	食中毒や感染症発生時の対応についてのケアの統一を図る。また、集団感染の予防と拡大を回避し、感染発生時の対応についての研修を実施する。	6・10月
安全対策委員会	施設内外の設備点検をはじめ、避難訓練の計画、実施や通報機器の使用説明を行い、非常時に対する意識の向上を図る。	5・8・11・2月

委員会名	活 動 目 標	活動回数
レクリエーション委員会	夏祭りやクリスマス会等のイベントの予算や期間など具体的内容を計画し、実行していく。また、フロア内の季節感を出すための飾り付けなどを実施する。	7月・11月
環境委員会	フロアの備品等の確認を行い、清掃計画を立てて実施していく。	5月・11月

5. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、めりはりのある生活や馴染みの習慣が継続できるように季節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	内容
4月	① 花見 ② おやつ作り	① 近隣にドライブに出かけ、桜を觀賞しながら散策を行う。 ② 回想療法として調理を楽しむ。
5月	① ドライブ外出（喫茶） ② お菓子作り ③ ドライブ外出	① コーヒーを楽しみ、自分自身でお金を支払う等今までの生活の中で当たり前であった行動を当たり前にするを目的として喫茶店へ出かける。 ② 回想療法として調理を楽しむ。
6月	① ドライブ外出（あじさい觀賞） ② おやつ作り	① 御津町方面へあじさいの觀賞に出かけ、散策を行う。 ② 回想療法として調理を楽しむ。
7月	① セタ会 ② おやつ作り	① セタの笹飾りを楽しむ。 ② 回想療法として調理を楽しむ。
8月	① 夏祭り	① 夏祭りの余興を実施し、職員と利用者の交流を図る。
9月	① 寿会 ② おやつ作り	① ボランティアによる舞踊を鑑賞する。 ② 回想療法として調理を楽しむ。
10月	① おやつ作り ② ドライブ外出（コスモス觀賞）	① 回想療法を行いながら、調理を楽しむ。 ② 御津町のコスモスを觀賞しながら散策を行う
11月	① ドライブ外出（紅葉見学） ② おやつ作り	① 季節の変化を感じながら、紅葉を觀賞し、散策を行う。 ② 回想療法として調理を楽しむ。
12月	① クリスマス会（クリスマスケーキ作り）	① クリスマスイベントとしてケーキ作りを実施し、職員と利用者の交流を図る。

月	行 事 内 容	内 容
1 月	① 初詣（魚吹神社） ② おやつ作り	① 魚吹神社へ初詣の参拝に出かける。 ② 回想療法として調理を楽しむ。
2 月	① 節分（豆まき） ② おやつ作り	① 節分の豆まきを行う。 ② 回想療法として調理を楽しむ。
3 月	① ドライブ外出（梅林公園見学） ② おやつ作り	① 御津町にドライブに出かけ、梅を觀賞しながら散策を行う。 ② 回想療法として調理を楽しむ。
毎月	① 園だよりの発行	① 事業所独自の広報誌発行し、毎月の取り組みをより詳しく紹介する。

6. 運営推進会議

地域密着型サービスの内容の報告及び利用者に対する適正サービス実施状況の確認、地域関係者との意見交換・交流等を行うことを目的に、年2回開催する。

内 容	参 加 者
①事業計画、事業報告に関する事項 ②利用状況及び活動報告に関する事項 ③普及啓発事業に関する事項 ④事故・苦情報告及び対応策等の事項 ⑤地域行事への参加等、地域交流に関する事項 ⑥その他の事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民代表 ・ 当該事業についての知見を有する者 ・ 利用者代表及び利用者家族代表 ・ 姫路市大津地域包括支援センター ・ 管理者 ・ 生活相談員

7. 施設の安全対策

一人ひとりの利用者の安全な生活の継続を図るため、防災意識を高め、有事に備えて、次の災害への対策を実施する。

月	訓 練 種 目	内 容
4 月	防災訓練	防災に関する設備の説明
5 月	みやび野合同訓練	みやび野エリアでの連携訓練
6 月	消防訓練	避難誘導及び各部署との連携確認

月	訓練種目	内容
9月	防災訓練	避難シューターの使用法周知
11月	みやび野合同訓練	みやび野エリアでの連携訓練
12月	消防訓練	通報機器、通報内容の確認
2月	消防訓練	避難誘導及び各部署との連携確認
3月	消防訓練	避難誘導及び各部署との連携確認

8. 施設内職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研修名	対象	研修担当
4月	倫理及び法令遵守 個人情報保護に関する研修 接客に対する研修	全職員	理事長・事務長・管理者
9月	感染症研修（ノロウイルス）	全職員	感染委員会（看護師）
10月	接客研修	全職員	管理者
11月	安全対策研修	全職員	生活相談員
1月	感染症研修（インフルエンザ）	全職員	感染委員会（看護師）
3月	リスク研修	全職員	生活相談員

9. 研修計画

各職員の職種と役割、経験年数に合わせて、習得すべき能力やスキルを明確にし、ボトムアップ（底上げ）を図るため、それぞれに応じた研修への参加を促す。

対象	研修内容	研修名
生活相談員 介護支援専門員 介護主任 ユニットリーダー	・各事業所のリーダーとして、求められる役割と持つべきスキルなどについて	リーダー研修
法人全体	・福祉、介護の専門職として、持つべきマナーなどについて	接客研修